

質問 1 全般 に関する項目

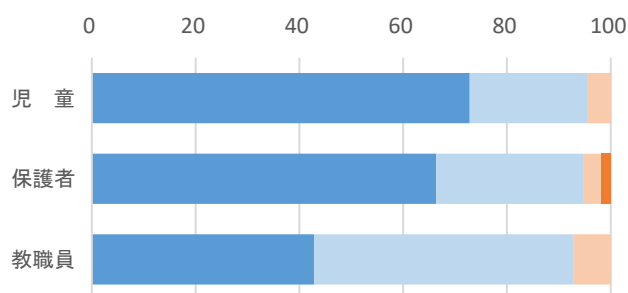
(児 童) あなたは、毎日楽しく学校に通うことができますか。

(保護者) お子さんは、楽しく学校に通っていますか。

(教職員) 子どもたちは、楽しく学校に通っていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
1	A	B	C	D
児 童	72.8	22.8	4.4	0.0
保護者	66.4	28.3	3.5	1.8
教職員	42.9	50.0	7.1	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童95.6%（+3.0）、保護者94.7%（-2.8）、教職員92.9%（-7.1）】

○全体的な傾向としては、多くの児童が毎日楽しく学校に通っていると実感をもっており、保護者・教職員も児童と同様の受け止めをしているといえる。

○特に、統合初年度において児童が前年比+3ポイント（C群-1.8、D群-1.2）であることから、児童間の良好な関係性が編まれていることがうかがえる。

●個別にみると、C・D群の回答が見られるので、今後も一層子どもの心に寄り添った支援・指導の工夫が求められる。

質問 2 全般 に関する項目

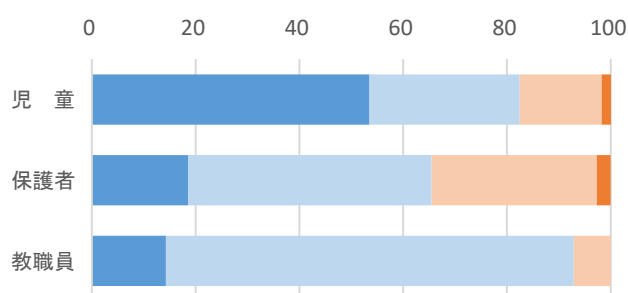
(児 童) あなたは今、将来の夢や目標を持って生活していますか。

(保護者) お子さんは、現在夢や目標を持って生活していますか。

(教職員) 子どもたちは、現在夢や目標を持って生活していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
2	A	B	C	D
児 童	53.5	28.9	15.8	1.8
保護者	18.6	46.9	31.9	2.6
教職員	14.3	78.6	7.1	0.0

(%)



【AB群（前年比）児童82.4%（-4.0）、保護者65.5%（-6.1）、教職員92.9%（-7.1）】

○全体的な傾向としては、多くの児童が将来の夢あるいは行事等に対するめあて・目標をもって生活しているといえる。

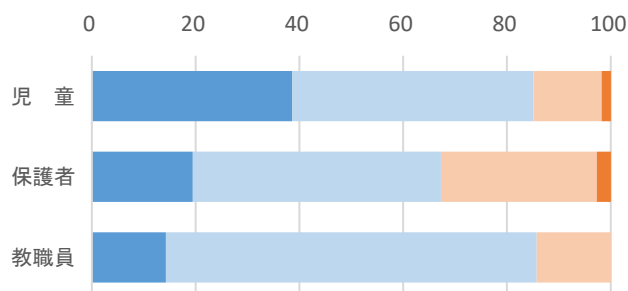
●昨年度にも増して学校（児童・教職員）と家庭（保護者）のポイント差が大きくなった。学級だより等を通じた情報の発信のしかたの工夫に努めるとともに、家庭においても親子のコミュニケーションを図る場を設ける等、学校生活を話題にした児童の思いの共有に努めることが求められる。

質問3 | | |----| | 学習 | |----| に関する項目

- (児童) あなたは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。
 (保護者) お子さんは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。
 (教職員) 子どもたちは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
3	A	B	C	D
児童	38.6	46.5	13.2	1.8
保護者	19.5	47.8	30.1	2.7
教職員	14.3	71.4	14.3	0.0

(%)



<学校コメント>

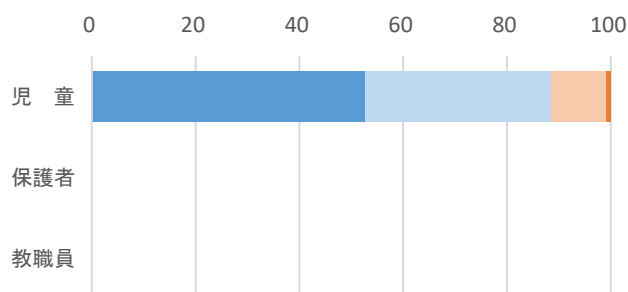
【AB群（前年比）児童85.1%（－8.7）、保護者67.3%（－14.2）、教職員85.7%（－14.3）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が困難な課題に対して粘り強く取り組んでいるといえる。
 ●昨年度の設問は「授業は分かりやすいですか」であるため、数値の直接的な比較は妥当ではないが、学校（児童・教職員）と家庭（保護者）との認知の差が大きいので、「質問2」と同様に情報発信の仕方の工夫・改善が求められる。
 ●一方で、家庭においては、親が受け止めている以上に子どもは課題に対峙しているということを確認する必要がある。

質問4 | | |----| | 学習 | |----| に関する項目

- (児童) あなたは、授業での話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。
 (保護者) 【※ 児童のみ回答】
 (教職員) 【※ 児童のみ回答】

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
4	A	B	C	D
児童	52.6	36.0	10.5	0.9
保護者				
教職員				

(%)



<学校コメント>

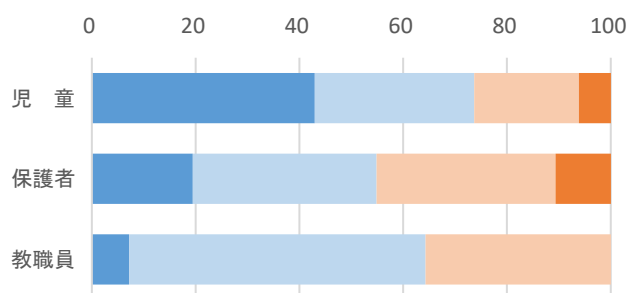
【AB群（前年比）児童88.6%（－1.5）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が話し合い活動に積極的に参加することで、友達の考えにふれて自身の考えを深めたり、友達との合意形成を図ったりすることができたといえる。
 ●本校の現職教育研究における授業改善の方向性の中で、「他者との対話を通じたかわり」「子どもの言葉が積み上がった授業」が課題として挙げられている。今後も教職員が一丸となって授業改善に向けて取り組む中で、学習過程における対話の位置づけや児童の言葉の取り上げ方を工夫していく。

質問 5 | | |----| | 学習 | |----| に関する項目

- (児 童) あなたは、家庭学習を毎日目標時間以上していますか。
 (保護者) お子さんは、毎日決められた時間以上家庭学習をしていますか。
 (教職員) 子どもたちは、毎日決められた時間以上家庭学習をしていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
5	A	B	C	D
児 童	43.0	30.7	20.2	6.1
保護者	19.5	35.4	34.5	10.6
教職員	7.1	57.1	35.7	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童73.7%（－12.8）、保護者54.9%（－0.7）、教職員64.2%（－29.1）】

○全体的な傾向としては、多くの児童が決められた時間以上の家庭学習に取り組んでいるといえる。

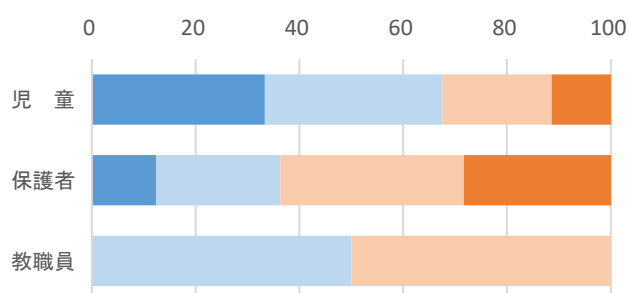
●気をつけたいのは、児童と教職員・保護者の認識に開きがあることである。児童ががんばったと思っていても、教職員・保護者が児童の思いを支える言葉かけができなければ、児童の学習意欲を高めていくことは難しい。

質問 6 | | |----| | 学習 | |----| に関する項目

- (児 童) あなたは、進んで本を読み読書を習慣にしていますか。
 (保護者) お子さんは、読書の習慣はありますか。
 (教職員) 子どもたちには、読書の習慣はありますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
6	A	B	C	D
児 童	33.3	34.2	21.1	11.4
保護者	12.4	23.9	35.4	28.3
教職員	0.0	50.0	50.0	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童67.5%（－12.8）、保護者36.3%（－14.4）、教職員50.0%（－36.7）】

○全体的な傾向としては、半数程度の児童に読書習慣が形成されているということがいえる。

●児童・保護者・教職員ともに、前年度よりもマイナス評価になった。朝の読書活動への取り組み方の工夫及び授業時の図書館の利用の仕方など、本を身近に感じられるような環境づくりに努めたい。

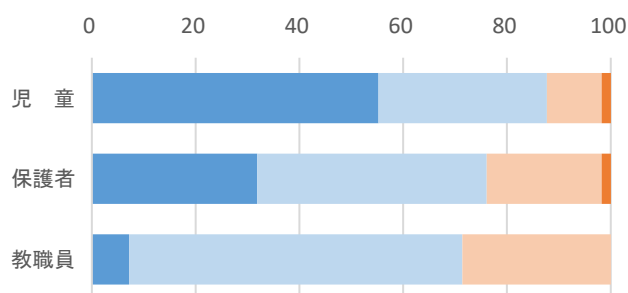
●各家庭において、メディア利用のあり方を含めて読書への取り組み方を工夫することも大切である。

質問 7 礼儀・思いやり に関する項目

- (児 童) あなたは、進んで気持ちの良いあいさつをしていますか。
 (保護者) お子さんは、進んで気持ちの良いあいさつをすることができますか。
 (教職員) 子どもたちは、進んで気持ちの良いあいさつをすることができますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
7	A	B	C	D
児 童	55.3	32.5	10.5	1.8
保護者	31.9	44.2	22.1	1.8
教職員	7.1	64.3	28.6	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童87.8%（－8.5）、保護者76.1%（－4.2）、教職員71.4%（－21.9）】

○全体的な傾向としては、多くの児童が進んで気持ちの良いあいさつをしているといえる。

●あいさつを改善するためにあいさつの指導に力を入れるということだけではなく、児童との日ごろのコミュニケーション（関係性）の中の一つとしてあいさつがあるという考え方に立ち、包括的に児童との良好な関係性の構築に向けた支援・指導の在り方を工夫していく必要がある。

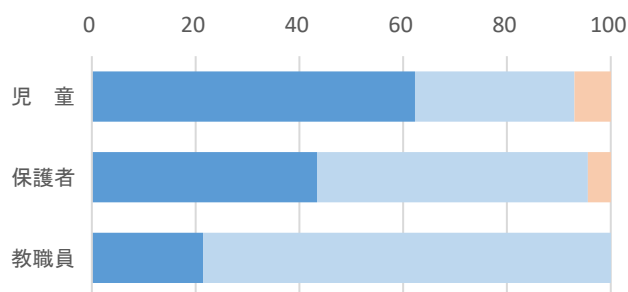
●他者意識が働いたあいさつの在り方を模索したい。

質問 8 礼儀・思いやり に関する項目

- (児 童) あなたは、学校や家庭・社会のきまりを守って生活できていますか。
 (保護者) お子さんは、社会のきまりを守って生活できていますか。
 (教職員) 子どもたちは、社会のきまりを守って生活できていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
8	A	B	C	D
児 童	62.3	30.7	7.0	0.0
保護者	43.4	52.2	4.4	0.0
教職員	21.4	78.6	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童93.0%（－3.5）、保護者95.6%（＋4.3）、教職員100%（±0）】

○全体的な傾向としては、多くの児童が学校や家庭・社会のきまりを守って生活していると実感しており、保護者・教職員も児童と同様の受け止めをしているといえる。

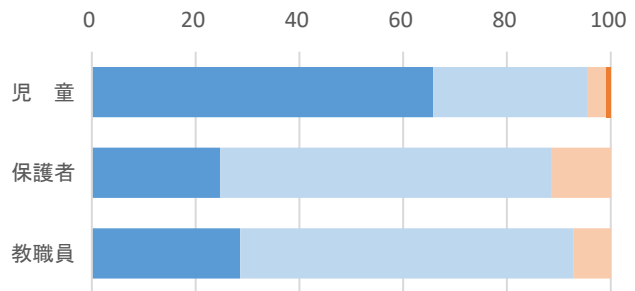
●児童は指示されたことや日常のきめられた作業等には責任をもって取り組むことができるので、さらに発展させて、自身の気づきをもとにした行動・取り組みを期待して支援・指導にあたりたい。

質問 9 礼儀・思いやりに関する項目

- (児 童) あなたは、どんな人にも思いやりの心を持ち、相手のことを考えて話を聴くことができますか。
 (保護者) お子さんは、どんな人にも思いやりを持ち、相手のことを考えて話を聴くことができますか。
 (教職員) 子どもたちは、どんな人にも思いやりを持ち、相手のことを考えて話を聴くことができますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
9	A	B	C	D
児 童	65.8	29.8	3.5	0.9
保護者	24.8	63.7	11.5	0.0
教職員	28.6	64.3	7.1	0.0

(%)



<学校コメント>

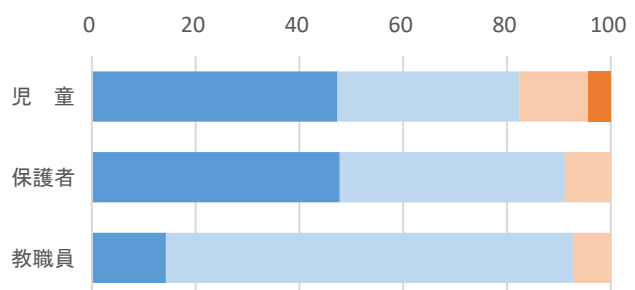
【AB群（前年比）児童95.6%（+1.8）、保護者88.5%（+2.0）、教職員92.9%（-7.1）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が誰に対しても思いやりの心を持ち、相手のことを考えて話を聴く姿勢をもっているといえる。
 ○昨年度の設問は「相手の立場に立って親切にすることができますか」であるため、数値の直接的な比較は妥当ではないが、児童は日ごろから他者意識を発揮しながら友達・家族・教職員等とコミュニケーションをとっていることがうかがえる。
 ●家庭と教職員は、児童の思いを大切にしながら、よりよいコミュニケーションの在り方について支援・指導していくことが求められる。

質問10 健康・運動に関する項目

- (児 童) あなたは、決まった時間に寝たり起きたりして規則正しい睡眠をとることができますか。
 (保護者) お子さんは、規則正しい睡眠がとれていますか。
 (教職員) 子どもたちは、規則正しい生活ができていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
10	A	B	C	D
児 童	47.4	35.1	13.2	4.3
保護者	47.8	43.4	8.8	0.0
教職員	14.3	78.6	7.1	0.0

(%)



<学校コメント>

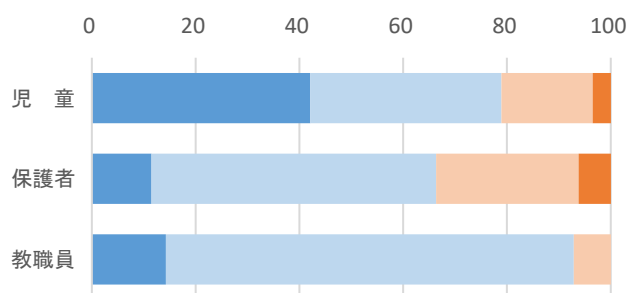
【AB群（前年比）児童82.5%（+1.0）、保護者91.2%（+3.5）、教職員92.9%（-7.1）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が規則正しい生活をしているといえる。
 ○生活基盤である規則正しい生活習慣の形成に向けて、保護者が積極的に関与し支援している実態が表れた。
 ●児童の中にはメディアとの付き合い方に課題をもち、規則正しい生活習慣の形成に影響していると自覚している子もいるため、引き続き学校と家庭で連携しながらよりよい生活習慣の形成に向けて努めたい。

質問11 健康・運動 に関する項目

- (児 童) あなたは、おやつなどの間食をひかえ、食事は好き嫌いなく食べていますか。
 (保護者) お子さんは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。
 (教職員) 子どもたちは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
11	A	B	C	D
児 童	42.1	36.8	17.5	3.5
保護者	11.5	54.9	27.4	6.2
教職員	14.3	78.6	7.1	0.0

(%)



<学校コメント>

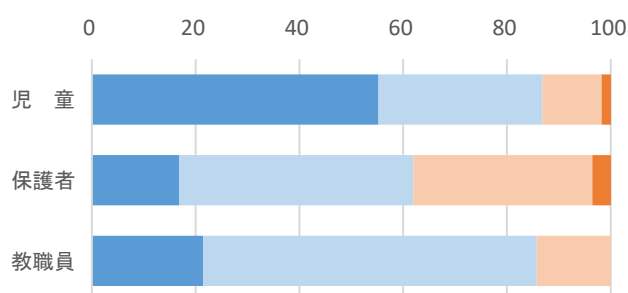
【AB群（前年比）児童78.9%（－6.3）、保護者66.4%（－2.8）、教職員92.9%（－6.2）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は好き嫌いなく食事をしているということがいえる。
 ○教職員の評価が高いということから、学校給食で提供されるメニュー及び食材については、ほとんどの児童が好き嫌いの有無にかかわらず食べている、あるいは食べる努力をしている姿がうかがえる。
 ●児童及び保護者の評価から、家庭における間食や好き嫌いへの対応については、「バランスの良い食事」の観点から改善していくことも必要である。

質問12 健康・運動 に関する項目

- (児 童) あなたは、自分の体力を高めようとめあてを持って運動をしていますか。
 (保護者) お子さんは、めあてを持って運動をしていますか。
 (教職員) 子どもたちは、めあてを持って運動をしていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
12	A	B	C	D
児 童	55.3	31.6	11.4	1.8
保護者	16.8	45.1	34.5	3.5
教職員	21.4	64.3	14.3	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童86.9%（－7.0）、保護者61.9%（－3.6）、教職員85.7%（＋5.7）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童はめあてをもって運動に取り組んでいるということがいえる。
 ○学校における体育的行事や教科体育の運動では、めあてをもって活動していることから高い評価になっていると推察される。
 ●学校での体育的行事及び教科体育への取り組み状況を、学級だより等を通して家庭に伝えることで、学校と家庭が協働して子どもを支える基盤づくりとなることを期待したい。

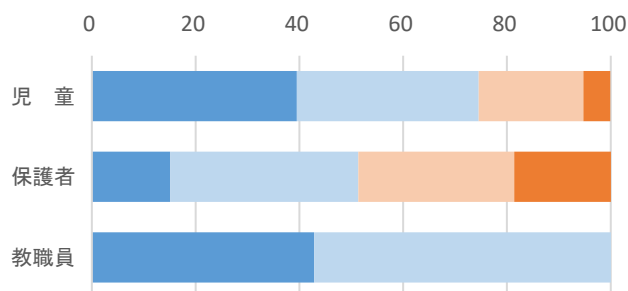
質問13 健康・運動に関する項目

- (児童) あなたは、家庭ではメディアコントロールのことを考え生活できていますか。
 (保護者) お子さんは、ご家庭でメディアコントロール※はできていますか。
 (教職員) 子どもたちは、家庭でのメディアコントロール※はできていますか。

(※ゲーム、動画視聴は1日1時間以内。ノーメディアデーの日は0時間)

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
13	A	B	C	D
児童	39.5	35.1	20.2	5.2
保護者	15.0	36.3	30.1	18.6
教職員	42.9	57.1	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

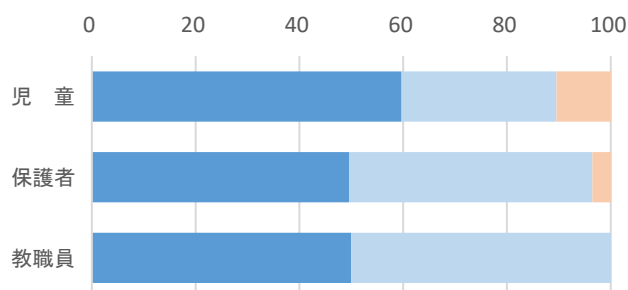
【AB群（前年比）児童74.6%（+1.8）、保護者51.3%（-3.0）、教職員100%（+20.0）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童はメディアコントロールの意識をもって生活しているといえる。
 ●児童と保護者の評価にギャップが生じている。各家庭において、きまりを作成し適切に運用されているのかといったチェック・管理のあり方を検討・改善していく必要がある。
 ●保護者がメディアを長時間利用していたり、ノーメディアデーにも利用していたりするという報告もある。

質問14 学校運営に関する項目

- (児童) 先生は、みなさん一人一人の様子をとらえ、努力を認めて生かすように努めていますか。
 (保護者) 先生は、子ども一人一人の様子をとらえ、その子の努力を認めて生かすように努めていますか。
 (教職員) 子ども一人一人の様子をとらえ、その子の努力を認めて生かすように努めていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
14	A	B	C	D
児童	59.7	29.8	10.5	0.0
保護者	49.6	46.9	3.5	0.0
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

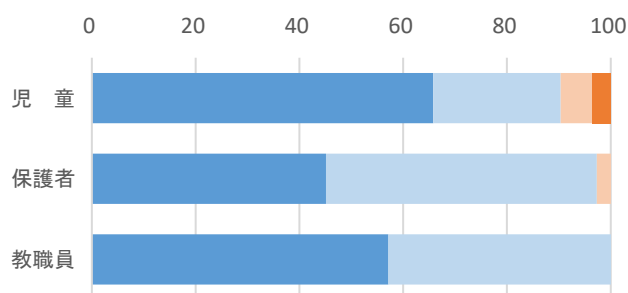
【AB群（前年比）児童89.5%（R5より）、保護者96.5%（+3.9）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は、教職員が自分の努力を認めてくれていると感じているということがいえる。
 ●保護者も児童と同様に感じていることがうかがえる。C群を0にできるように、教職員は児童の見取り方をさらに工夫・改善していくことが求められる。

質問15 学校運営 に関する項目

- (児童) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
 (保護者) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
 (教職員) いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
15	A	B	C	D
児童	65.8	24.6	6.1	3.5
保護者	45.1	52.2	2.7	0.0
教職員	57.1	42.9	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

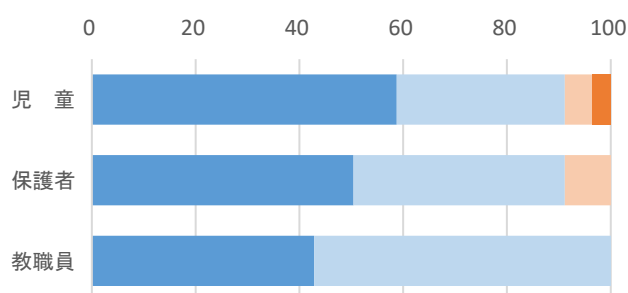
【AB群（前年比）児童90.4%（R5より）、保護者97.3%（+1.0）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校はいじめがない温かな学級づくりに努めていると感じているといえる。
 ●児童回答にC・D群があることから、教職員は学級の実態を改めてとらえ直し、より一層丁寧に児童の観察に努めるとともに、小さなほころびを見逃さず対応していくことが必要である。

質問16 学校運営 に関する項目

- (児童) 学校は、性の悩みや相談に対して、親身になって対応していますか。
 (保護者) 学校は、お子さんの悩みや相談に対して親身になって対応していますか。
 (教職員) 子どもたちの悩みや相談に対して親身になって対応していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
16	A	B	C	D
児童	58.8	32.4	5.3	3.5
保護者	50.4	40.7	8.8	0.0
教職員	42.9	57.1	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

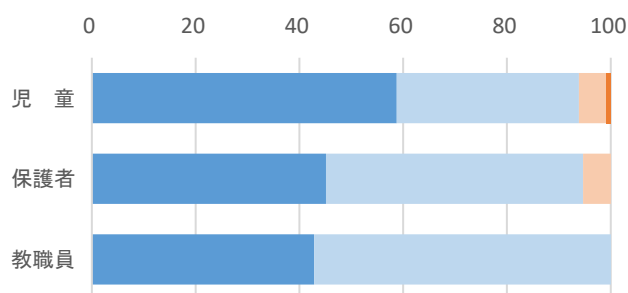
【AB群（前年比）児童91.2%（R5より）、保護者91.1%（-4.0）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は性の悩みや相談に親身になって応じていると感じているといえる。
 ●児童回答のC・D群に対しては、児童の発達段階にも応じながら、児童が安心感を得られるような対応について教職員間で連携を密にして改善を図っていく。

質問17 | | |------| | 学校運営 | |------| に関する項目

- (児 童) 学校は、みなさんの願いを聴き、必要なことはすばやく対応していますか。
 (保護者) 学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。
 (教職員) 保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
17	A	B	C	D
児 童	58.8	35.1	5.3	0.8
保護者	45.1	49.6	5.3	0.0
教職員	42.9	57.1	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

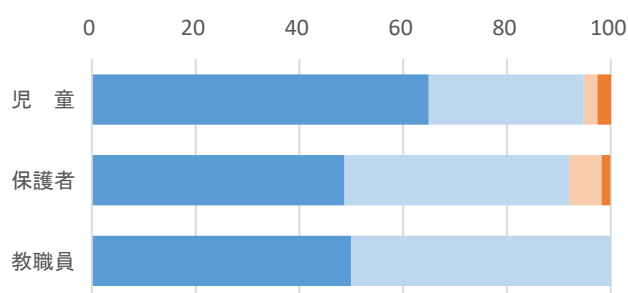
【AB群（前年比）児童93.9%（R5より）、保護者94.7%（-2.8）、教職員100%（+6.7）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は自分たちの要望を聴き、必要なことはすばやく対応していると感じているといえる。
 ●児童・家庭・地域から様々な意見をいただく中で、緊急性や安全面を考慮しながら優先順位をつけて対応してきた。引き続き、大所高所からのご意見をいただくことで、よりよい学校運営へとつなげていきたい。

質問18 | | |------| | 学校運営 | |------| に関する項目

- (児 童) 学校は、学校生活の様子を学級だよりや学校ホームページなどで分かりやすく伝えていますか。
 (保護者) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。
 (教職員) 教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
18	A	B	C	D
児 童	64.9	29.9	2.6	2.6
保護者	48.7	43.4	6.2	1.7
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

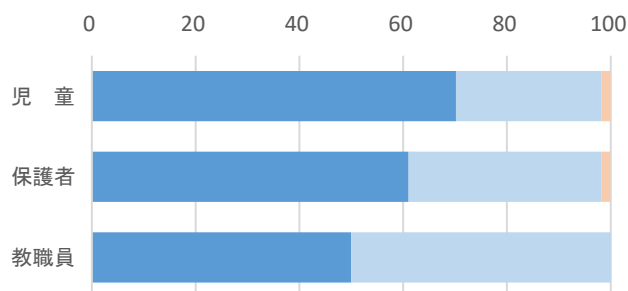
【AB群（前年比）児童94.8%（R5より）、保護者92.1%（-6.7）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は学校生活の様子を学級だよりや学校ホームページ等で分かりやすく伝えていると感じているといえる。
 ●学校ホームページに対して、「ホームページの更新が少ない」とのご意見をいただいている。学校としては、引き続きできる限り学校生活の情報発信に努めていきたい。

質問19 学校運営 に関する項目

- (児童) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
 (保護者) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
 (教職員) 教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
19	A	B	C	D
児童	70.2	28.1	1.7	0.0
保護者	61.1	37.2	1.7	0.0
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

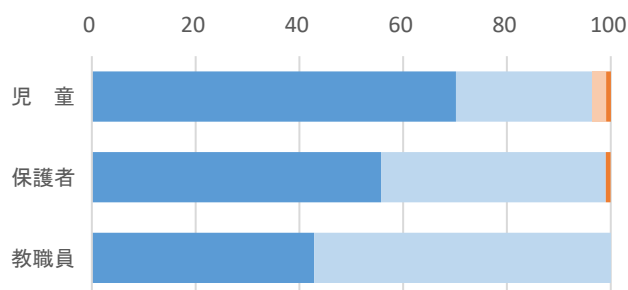
【AB群（前年比）児童98.3%（R5より）、保護者98.3%（+0.8）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は教育環境を整備して美化・安全管理に気を配っていると感じているといえる。
 ○学校美化・安全管理は、全教職員が最も配慮して取り組んでいることの一つである。
 ●保護者・地域の方々の目線からお気づきのことがあれば、今後ご教示願いたい。

質問20 学校運営 に関する項目

- (児童) 学校は家庭や地域との連携を適切に行っていますか。
 (保護者) 学校は、PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。
 (教職員) PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
20	A	B	C	D
児童	70.2	26.3	2.6	0.9
保護者	55.7	43.4	0.0	0.9
教職員	42.9	57.1	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

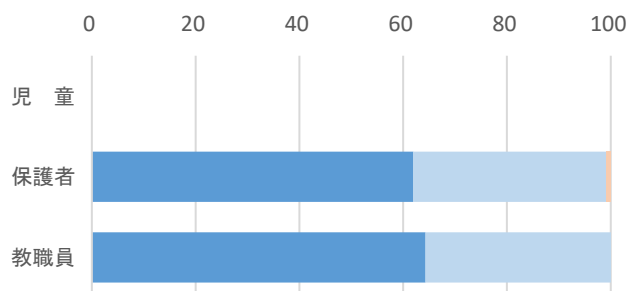
【AB群（前年比）児童96.5%（R5より）、保護者99.1%（+1.6）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は家庭や地域との連携を適切に行っていると感じているといえる。
 ○今年度も学校支援ボランティアによる活動支援等をいただいたことで、教育活動の安全面の確保とともに、学びの深まりを得ることができた。心から感謝申し上げる次第である。
 ○統合初年度のPTA奉仕作業や資源回収でも、保護者及び地域の方々の協力をいただいたおかげで、学習環境の整備並びに学習活動費が充実した。

質問21 その他 に関する項目

- (児 童)
 (保護者) 学校は、命の大切さを教え、健康や安全を意識した生活ができるよう健康教育や防災教育に取り組んでいますか。
 (教職員) 命の大切さを教え、健康や安全を意識した生活ができるよう健康教育や防災教育に取り組んでいますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
21	A	B	C	D
児 童				
保護者	61.9	37.2	0.9	0.0
教職員	64.3	35.7	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）保護者99.1%（-0.9）、教職員100%（±0）】

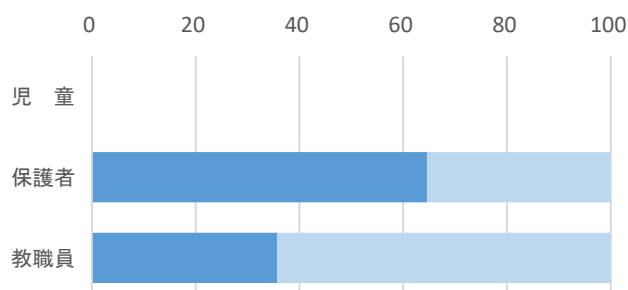
○全体的な傾向としては、保護者・教職員ともに命の大切さを教え、健康教育や防災教育に取り組んでいると感じているといえる。
 ○引き続き、生命の尊重、健康の保持増進、防災への取り組み及び災害時の対応について、児童の実態に応じた指導を展開していく。

質問22 その他 に関する項目

- (児 童)
 (保護者) 学校は、様々な体験的な活動を取り入れ、自然や地域社会と深く関わる機会を設けていますか。
 (教職員) 様々な体験的な活動を取り入れ、自然や地域社会と深く関わる機会を設けていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
22	A	B	C	D
児 童				
保護者	64.6	35.4	0.0	0.0
教職員	35.7	64.3	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

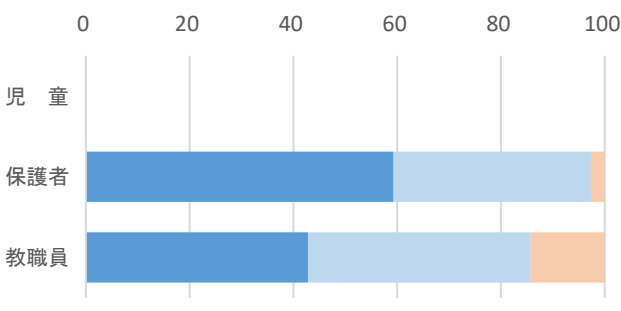
【AB群（前年比）保護者100%（+1.2）、教職員100%（±0）】

○全体的な傾向としては、保護者・教職員ともに様々な体験活動を取り入れ、自然や地域社会と深く関わる機会を設けていると感じているといえる。
 ○体験活動については、安全面、教育効果及び活動の発展性並びに授業時数等を考慮した上で精選し、教育課程に位置づけていきたい。

質問23 その他 に関する項目

- (児 童)
(保護者) 学校は、地域の人々や専門家による指導など多くの人と触れあい学ぶ活動を行っていますか。
(教職員) 地域の人々や専門家による指導など多くの人と触れあい学ぶ活動を行っていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
23	A	B	C	D
児 童				
保護者	59.3	38.0	2.7	0.0
教職員	42.9	42.9	14.2	0.0

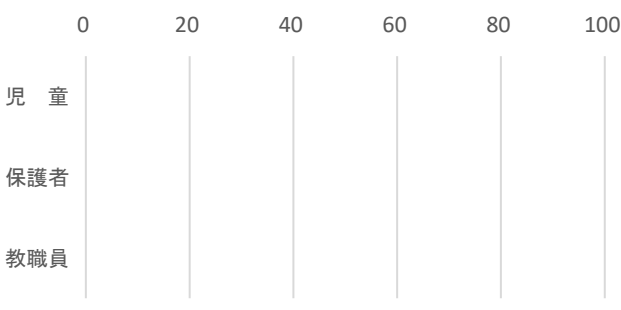


<学校コメント>

【AB群（前年比）保護者97.3%（－2.7）、教職員85.8%（－14.2）】
○毎日児童の通学路の安全を守ってくださる地区交通安全協会の方々・各地区区長様・地域住民の皆様、学校畑を絶えず気にかけてくださる農家の方々・学校支援ボランティアの方々、生活科・社会科見学で快く児童の見学を引き受けてくださった地域のお店・企業の方々、奉仕作業や資源回収では地域総出で取り組んでくださるなど、学校の諸活動は地域の人々からのお力添えをいただくことで進めることができた。心より感謝申し上げる次第である。

に関する項目

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
24	A	B	C	D



<学校コメント>